



2026 物価高騰対策 ver.1 「市民の暮らし応援パッケージ」について

亀山市は、今般、国の総合経済対策や重点支援地方交付金の活用を踏まえつつ、足元の物価高対策を優先的に実施し、現下の物価高から市民の暮らしを守るため、「生活者支援」及び「事業者支援」を柱とする総額約5億9,200万円の「市民の暮らし応援パッケージ」を展開し、市民生活を全力で支援します。

まず、生活者支援にかかる市の独自施策として、物価高騰による市民生活の負担軽減を図るため、全世帯に対し、市民1人当たり7千円の「物価高騰対応生活支援給付金」を給付することとし、関連予算の成立後、年度内の支給開始に向け事務を進めるものです。

また、令和8年度実施分として、小中学校や保育所等の給食に係る食材の価格高騰に対応するため、引き続き支援を行い、保護者の負担軽減を図ります。

一方、国の制度として、物価高の影響が長期化し、その影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、児童1人当たり2万円を支給する「物価高対応子育て応援手当」につきましては、昨年12月議会において予算対応し、来月末の支給に向けて事務を進めているところです。

次に、事業者支援として、市内の高齢者福祉サービス施設、障がい福祉サービス施設及び民間保育所、放課後児童クラブ等について、安定的かつ継続的なサービスの提供を支援するため、当該施設の電気料金等の高騰分の一部を補助することにより、負担軽減を図ります。この事業者支援につきましては、関連予算の成立後、2月上旬から申請の受付を開始し、年度内の支給を行います。

なお、詳細等については、資料をご参照ください。